

Adobe® InDesign™ 日本語版

製品概要

日本のプロフェッショナル・パブリッシングを変える、次世代レイアウトツール

Adobe InDesign 日本語版 (以下Adobe InDesign) は日本語でのプロフェッショナルパブリッシングのために開発された次世代のページレイアウトソフトウェアです。日本語ページレイアウトのワークフローと緻密なタイポグラフィのコントロールをデスクトップ上で提供するこの革新的なアプリケーションにより、プロフェッショナルユースの高品質かつ柔軟性に優れたデザインツールを提供します。Adobe InDesign には Adobe Illustrator® や Adobe Photoshop® などのアドビ製品共通のツール、コマンド、パレット等が採用されているので、これらの製品を使った経験のあるユーザは特にスムーズに Adobe InDesign を使用して最良の結果をより早く生み出すことができます。

緻密な日本語ページデザインと文字組みの作成

日本語レイアウトグリッドで柔軟かつ正確な日本語レイアウトのワークフローを実現 — 日本語の仮想ボディベースのレイアウトグリッドを設定して、オブジェクトを字面に合わせて正確に配置、トリミングさせたり、テキストフレームを正確に配置できます。

フレームグリッド — レイアウトグリッドと共に使用することにより、テキストの文字数を把握しながら最適な位置に配置できます。

フレームの組み方向と文字数管理 — フレームグリッドは縦組み、横組みのいずれにも設定できます。またフレーム内の文字数およびフレームグリッドからはみ出している文字数を簡単に表示できます。

文字組み — あらかじめ設定された文字組みアキ量設定の他に、フレキシブルコントロールを使用して文字組みアキ量設定をカスタマイズすることができます。

斜体文字 — 従来までのDTPソフトウェアに見られる単なるイタリック処理ではなく、写植システム同様の斜体を設定することができます。

異体字/Open Type® のサポート — Adobe InDesign は数多くの異体字を含む Open Type フォントの機能をサポートしています。字形パレットを使用して容易に異体字への切り替えができます。

測定単位システム — ミリメートル、級と齒、ポイント、パイカなど様々な測定単位を、他のページレイアウトソフトウェアに比べ、より精密に表示、変換します。

カスタマイズ可能な組み版機能と柔軟な文字コントロール — 文字組みアキ量設定および禁則処理設定はカスタマイズが可能です。和文・欧文などの様々なフォントを組み合わせて和欧混植のための合成フォントを作成できます。またルビ、圏点の細かい設定が可能で、さらに自動「縦中横」設定を使って縦組みの段落内の半角英文・数字を自動的に縦中横処理できます。日本語のベタ組みにおいてもフレームの外側にぶらさがり字を配置することも容易です。また広範囲にわたるドキュメント内の文字をすばやく検索、置換することができます。

アドビ製品間の柔軟な連携

アドビ共通ユーザインタフェイス — アドビ製品間共通のツール、パレット、コマンドあるいはキーボードショートカットなどを使って作業することによって Adobe Illustrator や Adobe Photoshop を使ったことがある方であれば容易に使い方を習得することができます。

アドビ共有テクノロジーの採用 — Adobe InDesign、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop はフォントラスタライズ、グラフィック管理、カラーマネジメントなどのコアテクノロジーを共有しており、精密かつ高品質な画面表示および出力結果を実現することができます。

QuarkXPress™ および Adobe PageMaker® ドキュメントを直接 InDesign ドキュメントに変換 — QuarkXPress 3.3、4.0.5、4.1 および Adobe PageMaker 6.5 のファイルを Adobe InDesign で開くことができます。

必要システム構成*

Macintosh® 版†

- PowerPC® G3 プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ (PowerPC G4 推奨)
- Mac OS 8.6 または 9.0
- 仮想メモリ使用の場合には 64MB の実装メモリ、仮想メモリ不使用の場合には 128MB の実装メモリ (192MB 以上推奨)
- インストール用に 145MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- CD-ROM ドライブ
- 832x624 のモニタ解像度 (24 ビット高解像度スクリーンディスプレイ推奨)
- PostScript® プリンタ: Adobe PostScript Level 2 または PostScript 3™ のプリンタ

Windows 版†

- Intel® Pentium® II またはそれ以上のプロセッサ (300MHz 以上のプロセッサ推奨)
- Service Pack 5 をインストールした Microsoft Windows NT 4.0 ワークステーション、Windows 98、Windows 2000、Windows Me のオペレーティングシステム
- 64MB の実装 RAM (128MB 以上推奨)
- インストール用に 100MB 以上の空き容量のあるハードディスク
- CD-ROM ドライブ
- 800x600 のモニタ解像度で 256 色をサポートするビデオカード (24ビットの高解像度ビデオディスプレイカード推奨)
- PostScript プリンタ: Adobe PostScript Level 2 または PostScript 3™ のプリンタ

* 必要システム構成は本製品の出荷前に変更される場合があります。

† インターネット接続環境推奨

アドビストア提供価格

Macintosh 版/Windows 版: ¥98,000

出荷予定時期

2001年第一四半期

クリエイティブワークに欠かせない革新的なツール群

複数回の取り消し、やり直し — Adobe InDesign の作業時に複数回にわたる取り消し、やり直しが可能です。

テキストとグラフィックフレーム — 編集可能なテキストフレームおよびグラフィックフレームを容易に作成できます。また Adobe InDesign 上で作られたあらゆるオブジェクトをフレームに変換できます。フレーム内にさらにフレームをペーストすることによって、複雑にネスト化 (入れ子) されたフレームを作成することも可能です。

プロフェッショナル描画ツール — ペンツール、鉛筆ツール、スムーズツール、消しゴムツールなどおなじみのツールを使ってグラフィックを作成し、自由変形ツールで回転、拡大/縮小やシア変形することが可能です。複数のパスを組み合わせることで複合パスにすることによって、新たな形状のグラフィックを作成することも可能です。アウトライン化したテキストのパスを編集して画像やテキストを読み込むこともできます。

カラーとグラデーション — スウォッチパレットでカラーとグラデーションを容易に作成および保存することが可能です。図形やテキストの塗りと線にドラッグしてカラーやグラデーションが簡単に適用できます。グラデーションをつけたテキストを編集することもできます。

クリッピングパスのサポート — Photoshop、EPS、あるいは TIFF ファイルを読み込む際、アルファチャンネルや埋め込みパスをクリッピングパスとして使用できます。画像が複数の埋め込みパスを含む場合は、使いたいパスを自由に選択できます。またクリッピングパスを Adobe InDesign 内で自動的に作成することも可能です。

大判用紙および見開きサイズのサポート — 最小 4.233 mm² から最大 5,486.4 mm² のページをデザインできます。また、デザイン要素を保存できる独自のペーストボードを持った見開きページを最大 10 ページまで作成、管理が可能です。

階層構造を持ったマルチプルマスターページ — ドキュメントに複数のマスターページを設定できます。また、他のマスターページをベースに新たにマスターページを作成することによって、そのマスターページに依存しているページすべてに後から加えた変更を適用させて、効率的に更新を行うことができます。

ドキュメント全体にわたるレイヤー — ドキュメント内のオブジェクトはレイヤー上に配置することができます。作業を行なう際には、必要に応じて各レイヤーの表示/非表示の切り替えや、順番の入れ替え、ロックなどが可能です。単一ファイル内で複数バージョンのドキュメントを作成するためにレイヤーを使うこともできます。

ドキュメントの複数表示を含む多彩なナビゲーションコントロール — ドキュメントのあらゆる領域を、最小 5% から最大 4,000% の間でズームイン/アウトして表示することができます。またひとつのドキュメントに対して複数のウィンドウを開くことができるため、別の視点からデザインを確認することができます。

キーボードショートカットの編集 — キーボードショートカットの編集機能を利用して、ショートカットをカスタマイズすることができます。またあらかじめ用意された、QuarkXPress と互換性を持つショートカットのセットを選択することも可能です。初期設定では、Adobe InDesign のショートカットは、できるだけ Adobe Illustrator および Adobe Photoshop と同様のショートカットに設定されています。

文字/段落スタイル — 文字および段落スタイルに関する多彩な属性の指定が可能です。スタイルを簡単に適用できるように、スタイル同士を相互に関連づけたり、スタイルに対してキーボードショートカットを割り当てることもできます。

精度の高いデザイン機能 — 高い精度でデザインを制作することができます。1万分の1 (0.0001) の単位まで数値を入力できます。

広範囲にわたるカーニングコントロール — オプティカルカーニングを選択すると、最適な欧文の文字間隔を視覚的に設定できます。また手動カーニング、(特定のフォントのみ利用可能な) 内蔵ペアカーニング、複数行にわたって文字間隔を調整する範囲カーニングで文字間隔を緻密に調節することができます。

高水準の出力

精巧なプリントコントロール — PostScript® プリンタに出力する際、コンポジット出力および色分解設定、グラフィックの取扱い、トンボの設定などがプリントオプションから選択できます。

Adobe PDF のサポート — Adobe InDesign のドキュメントを直接 PDF ファイルとして保存することができます。保存の際、高解像度出力および画面上でのディスプレイなどの用途に応じて、サブセットフォント、色変換、画像の圧縮、ICC プロファイルの埋め込みなどのオプションを設定できます。

プリンタおよび PDF への書き出しスタイル — プリンタおよび PDF への書き出しスタイルを保存することにより、お使いのプリンタおよび PDF への書き出しの設定を自動化できます。

内蔵プリフライトとパッケージコントロール — リンクされたグラフィック、フォントの有無、カラーなどの問題を認識するためにドキュメントのプリフライトが可能です。また出力に必要なすべてのファイルをひとつのパッケージにまとめることができます。

ICC ベースのカラーマネジメント — Adobe InDesign に搭載されている ICC ベースのカラーマネジメントコントロールにより、共通の設定を行ったアプリケーション間および出力機器において一貫した出力結果が得られます。